

## 令和4年度 子ども大学さって

## 1 実施体制

子ども大学さって	学長	山西 実 (幸手市教育委員会 教育長)
子ども大学さって実行組織	実行組織 (関係団体)	幸手市教育委員会教育部社会教育課 日本保健医療大学

## 2 事業内容

開催期間	令和5年1月28日～令和5年2月18日			
参加者数等	定員	30名	応募者数	15名
	参加者数	3年 6名	修了者数	3年 6名
		4年 3名		4年 3名
		5年 4名		5年 4名
		6年 2名		6年 2名


## 3 実施内容

1日目	開催日時	1月28日(土) 9:30～12:00	
	会場	日本保健医療大学北キャンパス	
はてな学	講義名	「紙パンツ解体新書」	
	講師	日本保健医療大学看護学科長 教授 上本野 唱子 先生	
2日目	開催日時	2月4日(土) 10:00～12:00	
	会場	日本保健医療大学北キャンパス	
ふるさと学	講義名	「幸手の海と綿のはなし」 「ことさんと白いさぎ」 「貝のストラップ作り」	
	講師	幸手市郷土資料館 館長 原 太平 先生 学芸員 岩澤 浩子 先生	
3日目	開催日時	2月11日(土) 9:30～12:00	
	会場	幸手市西公民館	
生き方学	講義名	「子ども大工さん」	
	講師	芦葉工藝舎 一級建築士 代表取締役 芦葉 武尊 先生 芦葉工藝舎 社員の皆様	

高吸水性樹脂で吸水実験

自分で選んだ貝でストラップ作り

釘を打って和紙を貼って行燈作り

4 日目	開催日時	2月18日(土) 9:30~12:00	 <p>体内を流れる電気を探る実験</p>
	会場	日本保健医療大学南キャンパス	
はてな学	講義名	「ヒトのからだのふしぎ」	
	講師	日本保健医療大学理学療法学科 助手 石井 智也 先生	

#### 4 新型コロナウイルス感染症対策（工夫した点や苦慮した点など）

- ・開催時期の見直し
- ・講義回数の見直し → 前は5回実施したが4回に減らす
- ・講師および参加者のマスク着用の義務化
- ・来館前の検温及び健康チェックのお願い
- ・参加者同士の空間の確保

#### 5 参加者の声

参加した子供の声（感想）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教科書にのっていない楽しい授業だった。いつもとても楽しく満足できる子ども大学だったので、また、できる機会があったらぜひ来たい（参加したい）です。</li> <li>・それぞれ4回の講座の中で、僕が今まで知らなかったことを知ることができました。また、今までやったことのないような工作をすることもできました。子ども大学さつてにまた来ることができてよかったです。</li> <li>・気になっていたことや不思議だと思っていたこと、知らなかったことが分かってよかったです。また、さらに気になることや知りたいことが増えてとても楽しかったです。</li> </ul>
保護者の声（感想）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段接することがない専門分野の先生方の話を聞くことができるのはとても良い経験です。</li> <li>・毎回、分野の異なる講義を受けることができ子どもも多くのことに関心が持てました。物事を追求できるきっかけになりました。</li> <li>・他の学校、異学年の子どもも自然に交流でき、コミュニケーションの場にもなっていると感じました。</li> <li>・ストラップ作りなどの体験型や行燈を作る過程で工作の技能を学ぶなど、普段の勉強とは異なり、子どもが興味を得ることができる内容であり、自然と楽しんで講義を受けている姿が印象的でした。</li> </ul>